

2017 年事業報告書

1. 環境対策支援及び相談事業

<1-1：環境対策支援事業>

■担当：太田（責任者）、野田

■活動対象：主に京都市内全域のお祭り来場者・主催者・関係者・ボランティアスタッフ

■事業収入額：40,680,664 円（前年度：28,295,886 円）

■実施内容：件数は 34 件（2016 年度 31 件）となった。

売上金額は好調であるが、ロハスフェスタが運営方法変更により、2017 年 5 月広島ロハスを最後に環境対策支援が終了。秋ロハスよりリユースカップの販売のみに切り替わったことにより、利益は激減している。

昨年度調査を行った、天神祭ごみゼロ大作戦は 2017 年より本格始動となり、リユース食器の利用を開始。

新規の環境対策では、WEST GIGANTIC CITYLAND' 17（株式会社キョードーグループ）や長田第 1 行進曲 2017（サウンドクリエイター）など、京都以外での音楽フェスでの取組を進めることが出来た。

（祇園祭ごみゼロ大作戦）

■担当：太田（責任者）、鈴木、野田、前田

■事業収入額：4,426,089 円（上記<1-1：環境対策支援事業>に含む）

■実施内容：

2017 年 6 月一般社団法人 祇園祭ごみゼロ大作戦となる。これまでの Flag 三条から NPO センター移転に伴い、事務所を ecotone に移転させた。鈴木（営業）、野田（ボランティアリーダー育成や調整など）が中心となり、進めていき無事に 4 年目を終えることができた。

<1-2：リユース食器レンタル>

■担当：前田（責任者）、野田

■活動対象

環境対策実施団体/個人・イベント主催者・会議やセミナーの主催者

地域のおまつり関係者・各区まちづくり推進課等

■事業収入額：3,840,564 円（前年度：3,187,642 円）

■実施内容：環境省の 3R 促進イベント「Re-StyleFES!」での資源削減として、日本唐揚協会と連携し、同協会が主催する大型グルメイベント「からあげフェスティバル」等でリユース食器を利用し、来場者に資源の重要性や 3R 行動などについての理解を深めてもらう参加型企画として全国 7 カ所でリユース食器（M 角皿）の発注を受けた。

また、大谷大学紫明祭、洛星文化祭など、引き続き大口レンタルは継続。リユース食器の認知度は上がってきているようで、新規の問い合わせも増えた。

2. 持続可能な社会づくりに資する調査・研究・情報事業

<2-1. ごみゆにけーしょん（事業委託）>

■担当：前田

■対象：事業系廃棄物減量を目的としたフリーペーパー「ごみゆにけーしょん」の企画/編集

■事業収入額：925,000円

■実施内容

京都市 環境政策局 循環社会推進部 ごみ減量推進課からの事業委託として「みんなに話したくなる みんなと始める」をコンセプトに、“へらす”“わかる”で一步先行くごみゼロ事業所を具体的に応援するフリーペーパー。今回で5年目の受託となった。（前田の産休・育休により提案辞退時を除く全年度）

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000171032.html>

<2-2. 「エコ学区」への『リユース食器お試しセット』提供>

■担当：太田

■対象：京都市民

■事業収入額：55,556円

■実施内容

2013年度から市内全222学区展開となった「エコ学区」に宣言した学区に配布されるエコ活動に便利な物品として、リユース食器セットが採用されるに至った。2017年度は2学区から申請があり提供1セット3万円（税込）で販売を実施。これまで、2013～2016年度の4年間で合計43セット販売している。

<2-3. 関西テレビ 廃ビデオテープのリサイクル支援活動>

■担当：太田

■事業収入額：804,639円

■実施内容

関西テレビ（株）から排出される廃ビデオテープのリサイクルのコーディネートを行った。